GREEN HOUSE™

乾電池駆動モデル

10.1型ワイドポータブルDVDプレーヤー

取扱説明書

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順

製品構成を確認します。
(1 ページ)

▽

本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」、「使用上のお願い」、「ディスクについて」、「外部メモリーについて」、「各部のなまえ」をよく読みます。
(3 ～ 25 ページ)

▽

準備を行います。
(26 ～ 30 ページ)

▽

本製品の電源をオンにします。
(29 ページ)

製品構成の確認

パッケージの中に下記のものがすべて入っているかご確認ください。

●製品本体	1 台
●専用リモコン (電池取り付け済み)	1 個
●専用 AV ケーブル	1 本
●専用 AC アダプタ	1 個
●専用シガーソケットアダプタ (12V 車専用)	1 個
●専用ヘッドレスト取り付けキット	1 個
●専用イヤホン (Gシリーズのみ付属)	1 個
●取扱説明書 (本書)	1 部
●1 年間保証書	1 部

*付属のリモコン用ボタン電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

目次

安全上のご注意

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。
次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

危険	この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
	この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。 なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。 必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示

禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合､｢禁止｣を示しています。)

注意をうながす絵表示

注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合､｢注意｣を示しています。)

行為を指示する絵表示

コンセントから
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合､｢コンセントからプラグを抜く｣を示しています。)

⚠危険　異常が発生した場合

コンセントから
プラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社カスタマサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社カスタマサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社カスタマサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

異音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社カスタマサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社カスタマサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社カスタマサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

警告　使用について

禁止

ACアダプタは、必ず付属の専用品を使用してください。
火災や感電の危険があります。

禁止

ACアダプタは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の危険があります。

禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

禁止

業務用途としては使用しないでください。
長時間のご使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険がありますので、業務用途でご使用の際は、事前に、弊社 (03-5421-2255) までご相談ください。

警告　電源について

AC100V以外
使用禁止

ACアダプタのプラグは、100ボルト交流電源(AC100V)コンセントにしっかり差し込んで使用してください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

DC12V以外
使用禁止

シガーソケットアダプタは、自動車 (マイナスアース車に限る) 用 12 ボルト直流電源 (DC12V) のシガーソケットにしっかり差し込んで使用してください。
自動車用 12 ボルト直流電源以外でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

エンジン始動後
接続

シガーソケットアダプタは、エンジン始動後に接続してください。
エンジン始動時、瞬間的に発生する可能性のある高電圧や大電流(サージ電流)により、故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

警告　電源について

 定期的に プラグを掃除	AC アダプタのプラグは、定期的に掃除を行ってください。 AC アダプタのプラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に AC アダプタのプラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。
 コンセントから プラグを抜く	ACアダプタのプラグのお手入れは、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外して行ってください。 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。
 定格超過 禁止	コンセントや延長ケーブル、OA タップなどの定格を超えて使用しないでください。 タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。
 コード傷つけ 禁止	AC アダプタやシガーソケットアダプタのコードは、傷つけないでください。 ものをのせたり、引っぱったり、ねじったりなど、無理に取り扱うとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。
 禁止	AC アダプタやシガーソケットアダプタのコードに傷や裂け、割れ、ちぎれなど破損がある場合は、ご使用にならないでください。 破損した AC アダプタやシガーソケットアダプタから発熱や放電することにより、火災や感電の危険があります。
 落雷時は 触れない	落雷のおそれがある場合、AC アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。 火災や感電の危険があります。
 濡れた手で 触れない	濡れた手で AC アダプタのプラグやコンセントに触れないでください。 感電の危険があります。
 破損コンセント 使用禁止	破損したコンセントを使用しないでください。 コンセントに AC アダプタのプラグをしっかり差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。
 コードひっぱり 禁止	AC アダプタのプラグをコンセントに抜き挿しする場合、プラグ部を持ってください。 コードを引っぱると、AC アダプタのプラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

⚠警告　設置について

 不安定な場所に置かない	不安定な場所に置かないでください。 不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。
 禁止	温度の高いところに置かないでください。 熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。
 禁止	湿度の高いところに置かないでください。 火災や感電の危険があります。
 水濡れ禁止	水のかかる場所に置かないでください。 雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。
 禁止	異物が浮遊するところに置かないでください。 ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。
 禁止	通気口をふさがないでください。 通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。 ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。
 禁止	運転者の視界や運転操作の妨げになる場所、運転装置に触れる場所に取り付けないでください。 事故の危険があります。
 禁止	エアバッグの動作を妨げる場所や、チャイルドシートやジュニアシートの正面には取り付けないでください。 感電やケガの危険があります。

⚠ 警告　使用について

 分解や改造 禁止	分解や改造をしないでください。 火災や感電の危険があります。
 禁止	ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。 衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ際は、無理に取り扱わないでください。
 禁止	子供だけで使用したり､乳幼児の手の届くところで使用しないでください。 感電やケガの危険があります。
 禁止	子供が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容にもとづいた指導監督を行ってください。 感電やケガの危険があります。
 禁止	水や異物を入れないでください。 火災の危険があります。
 禁止	破損や変形、補修したディスクは使用しないでください。 ディスクは製品内で高速に回転しますので、ケガをする危険があります。また、回転中のディスクには触れないでください。
 禁止	リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。 また、運転中は製品を使用しないでください。事故の危険があります。
 禁止	目的外の使用はしないでください。 火災や感電の危険があります。

⚠警告　使用について

禁止

運転中は使用しないでください。
事故の危険があります。

注意

航空機内での使用は、航空会社の指示に従ってください。
事故の危険があります。

警告　電池について

指定の電池を使用してください。
指定外の電池や種類の違う電池、未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせて使用すると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス（＋）、マイナス（－）の極性に注意してください。

長時間使用しないときは、電池を取り外してください。
使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。

電池を加熱したり、加圧したりしないでください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。

電池を傷つけたり、分解したり、水や火の中に入れないでください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、電池を取り出せないようにしてください。
誤飲や窒息の危険があります。

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流してください。
皮膚障害の危険があります。

電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流し、医師の診察をうけてください。
視力が損なわれたり、失明の危険があります。

注意　使用について

コンセントから
プラグを抜く

長期間使用しないときは、AC アダプタのプラグを抜いてください。
電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。

適度な音量で
使用する

適度な音量で使用してください。
音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。

適度な音量で
使用する

イヤホンは、適度な音量で使用してください。
耳を刺激するような大音量で長時間連続ご使用になると、聴力が損なわれる可能性がありま

ピックアップ
レンズを見ない

ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないでください。
レーザー光を見続けることにより、視力が損なわれる可能性があります。

禁止

外部メモリーを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤飲や窒息の危険があります。

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

●製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
●電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
●製品を移動する際は、ディスクや外部メモリーを取り出し、電源を切り、AC アダプタのプラグをコンセントから取り外してください。
●電源を入れたまま、AC アダプタのプラグをコンセントから取り外さないでください。
●視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
●疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
●映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
●大音量で長時間連続で使用すると、聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
●運転中や歩行中など、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
●耳に異常を感じる場合は、使用しないでください。
●本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品 : | LCD | ディスクドライブ | ACアダプタ | ディスプレイ開閉部 (ヒンジ) | ピックアップユニット部)

製品のお手入れについて

●お手入れの際は、電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。
●汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
●ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
●化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
●ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
●強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
●殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
●ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
●シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。
●ピックアップレンズにゴミやホコリが付着すると再生不良の原因となりますので、その場合は市販のレンズクリーナーを使用してください。

製品の温度について

●密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。
●製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
●製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。

結露 (つゆつき) について

●温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
●結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
●結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
●寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

●磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
●電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
●磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

●使用後は節電のため、電源を切ってください。
●長く使用しない場合、AC アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
●取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクに付属の取扱注意書をよくお読みください。
●対応する再生可能なディスクであっても、再生できない場合があります。
●レコーダーやパソコンなどで録画したDVDディスクを再生する場合、録画したレコーダーやパソコンでファイナライズを実行する必要があります。
●レコーダーやパソコンなどによって DVDディスクのファイナライズを実行しても、再生できない場合があります。
●ディスクに指紋やホコリなど汚れが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となります。
●保管する際は、専用ケースに入れ、温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところを避けてください。
●信号面 (光っている面) には手を触れないでください。
●ディスクの汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってから、内側から外側へふき取ってください。
●ひどい汚れは、市販のディスククリーナーを使用してください。
●折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
●液体をかけないでください。
●シールやテープを貼ると、ディスクに反りが起こり、使用できなくなる可能性があります。
●印刷面に文字などを書き込む場合、硬いものは使用せず、やわらかいフェルトペンなどを使用してください。
●正円形のディスクを使用し、それ以外の形のディスクは使用しないでください。

外部メモリーの取り扱いについて

●外部メモリーに付属の取扱注意書をよくお読みください。
●対応する再生可能な外部メモリーであっても、再生できない場合があります。
●保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
●端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
●折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
●液体をかけないでください。
●シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

データについて

●対応する再生可能なファイル形式であっても、再生できない場合があります。
●記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
●記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
●記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
●大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
●データの管理は、お客様の責任において行ってください。

自動車内での使用について

●リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。
●運転中の運転者は製品を使用しないでください。
●運転者の視界を妨げる場所や運転操作の妨げになる場所に取り付けないでください。
●製品や付属品を、運転装置に触れる場所に取り付けないでください。
●製品や付属品を、エアバッグの動作を妨げる場所に取り付けないでください。
●製品や付属品を、アクティブヘッドレストの動作を妨げる場所に取り付けないでください。
●製品や付属品を、チャイルドシートやジュニアシートの正面には取り付けないでください。
●取り付け具が緩んだ場合、直ちに増し締めを行ってください。
●ひっぱったり、ぶらさがったり、強い力を加えないでください。
●バケットシートなどのヘッドレスト一体型シートに取り付けることはできません。
●ヘッドレストやシートに取り付け跡が残る場合があります。
●使用後は、製品や付属品を取り外し、車内から持ち出してください。
●車検時、検査官の判断により、取り付けたままでは合格しない場合がありますので、事前に取り外してください。
●目的外の使用はしないでください。
●目的外の使用や誤使用、改造などにより事故が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

免責事項

●取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

ディスクについて

使用できるディスク

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、またはジャケットに記載されています。

ディスク	マーク		内容
DVD ディスク			・12cm / 8cm ・リージョンコードが 2 および ALL ・映像方式：NTSC
DVD-R/RW DVD-R DL			・12cm / 8cm
DVD+R/RW DVD+R DL			・12cm / 8cm
CD			・12cm / 8cm
CD-R CD-RW			・12cm / 8cm

●ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

●本製品は、日本のテレビ方式 (NTSC) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
●市販されている DVD ディスクによっては再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

●リージョンコードが「2」や「ALL」以外の DVD ディスク。
●DVD オーディオ、SACD、DVD-RAM など、使用できるディスクに記載のない規格のもの。
●フォト CD、CD-G、CD-EXTRA のデータなど。

記録型ディスクの再生について

●本製品が対応している記録型ディスクであっても、データの記録状態によっては再生できない場合があります。
●ファイナライズしていないディスクを再生することはできません。
また、レコーダーやパソコンによって、ファイナライズを実行しても本製品で再生できない場合があります。

著作権保護機能（CPRM）のついたディスクの再生について

●著作権保護機能「CPRM」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品は CPRM の VR モード再生に対応していますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

コピーコントロール機能のついたオーディオCDの再生について

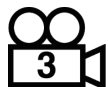
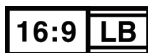
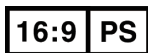
●コピーコントロール機能のついた CDの中には、CD規格に合致していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

再生するときの制約

●本取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。
DVDディスクは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあるため、
操作したとおりに動作しないことがあります。
●ボタン操作中にテレビ画面に ⊘ と表示されることがあります。⊘ と表示されたときは、本製品かディスクがその操作に対応しておりません。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクラベルやパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような２種類の音声が収録されています）
	記録されている字幕の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような２種類の字幕が収録されています）
	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 （左の例は、３種類の角度で収録されています）
	横：縦＝４：３の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス（横：縦＝４：３で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。
	横：縦＝１６：９のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（４：３）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横：縦＝１６：９のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（４：３）のテレビの場合はパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョンコード（地域番号）

リージョンコードについて

●DVDプレイヤーとDVDディスクには、それぞれ発売地域ごとにリージョンコード(地域番号)が設定されており、お互いのリージョンコード(地域番号)が一致しない場合、再生することができません。

本製品のリージョンコード（地域番号）は“2”です。

本製品で再生できる DVD ディスクのリージョンコードについて

●ご使用になるディスクにリージョンコード(地域番号)が設定されている場合、ディスクやパッケージに“2”または“ALL”のリージョンマークが記載されていないと、本製品では再生することが出来ません。

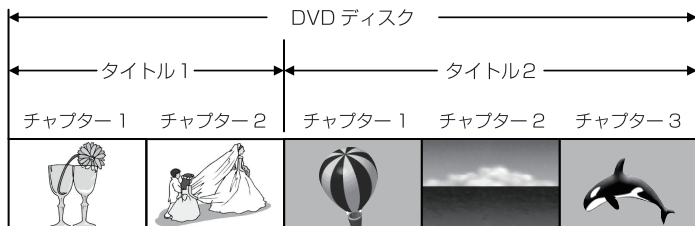
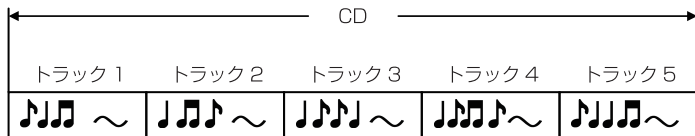
著作権について

●コンテンツの複製は私的使用のための複製に限られ、　個人として楽しむなどのほかは、本製品や複製したコンテンツを使用することができません。

●コンテンツを著作権者に無断で複製、配布、配信、販売などといった二次利用する行為は著作権法に違反します。

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

DVD ディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。

CD は、「トラック」で区切られています。

タイトル　：DVD ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック　：CD の内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号が割り当てられています。
これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

外部メモリーについて

使用できる外部メモリー

以下の外部メモリーに対応しています。

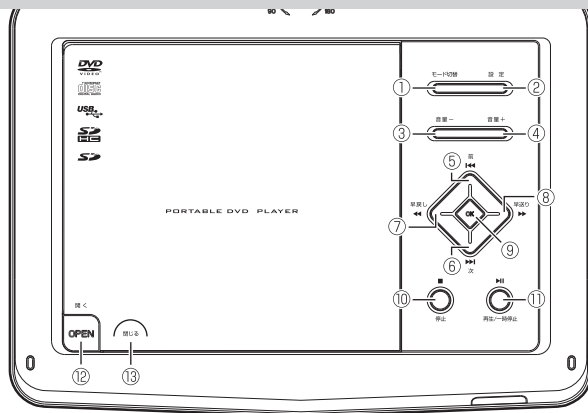
- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- USB メモリー

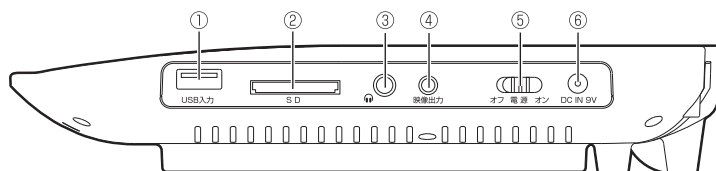
●すべての外部メモリー、すべての容量の動作保証をするものではありません。
●FAT または FAT32 でフォーマットされた外部メモリーのみ使用できます。
　その他のフォーマットに設定された外部メモリーでの動作保証はしておりません。
●miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードを使用する場合、別途専用アダプタが
　必要になります。
●MMC（マルチメディアカード）での動作保証はしておりません。
●SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

各部のなまえ

各部名称

本体とリモコンの各部名称を紹介します。

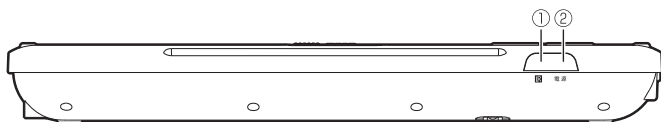
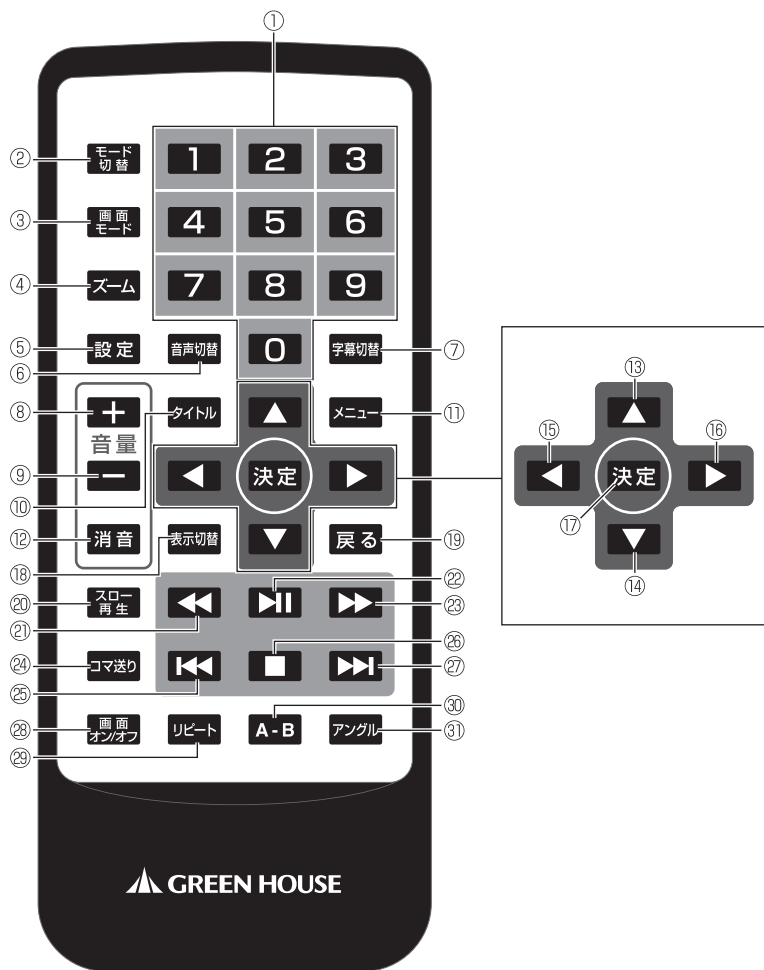
上面図

①	モード切替	動作モードを切り替えます
②	設 定	設定画面を表示します
③	音量－	音量を下げます
④	音量＋	音量を上げます
⑤	前	カーソルを上移動します/前のチャプターへ移動します
⑥	次	カーソルを下移動します/次のチャプターへ移動します
⑦	早戻し	カーソルを左移動します/早戻し再生をします
⑧	早送り	カーソルを右移動します/早送り再生をします
⑨	OK	項目の決定をします
⑩	停止	再生中のディスクやファイルを停止します
⑪	再生/一時停止	ディスクやファイルを再生/一時停止します
⑫	開く OPEN	ディスクトレイカバーを開きます
⑬	閉じる	ディスクトレイカバーを閉じます

右側面部

①	USB入力	USBメモリーを挿します
②	S D	SDメモリーカードを挿します
③		ヘッドホンを接続します
④	映像出力	専用AVケーブルを接続します
⑤	オフ 電 源 オン	主電源のオン/オフをします
⑥	DC IN 9V	専用ACアダプタや専用シガーソケットアダプタを接続します

前面部

①		リモコンからの操作を受信します
②	電 源	電源オン時に点灯します

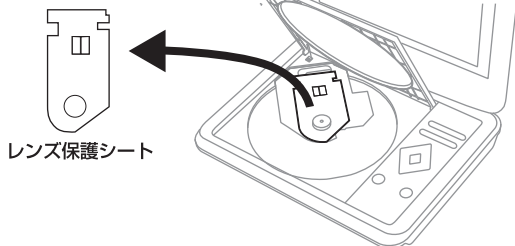
リモコン

①
②
モード切替
③
画面モード
④
ズーム
⑤
設定
⑥
音声切替
⑦
字幕切替
⑧
⑨
音量
⑩
タイトル
⑪
メニュー
⑫
消音
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
決定
⑱
表示切替
⑲
戻る
⑳
スロー再生
㉑
㉒
㉓
㉔
コマ送り
㉕
㉖
㉗
㉘
画面オン/オフ
㉙
リピート
㉚
A-B
㉛
アングル
GREEN HOUSE

No.	ボタン	機能
①	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	数字を入力します
②	モード切替	動作モードを切り替えます
③	画面モード	画面のアスペクト比(16:9/4:3)を切り替えます
④	ズーム	画面をズームします
⑤	設定	設定画面を表示します
⑥	音声切替	音声を切り替えます
⑦	字幕切替	字幕を切り替えます
⑧	＋	音量を上げます
⑨	−	音量を下げます
⑩	タイトル	タイトルメニューを表示します
⑪	メニュー	ルートメニューを表示します
⑫	消音	消音します
⑬	▲	カーソルを上移動します
⑭	▼	カーソルを下移動します
⑮	◀	カーソルを左移動します
⑯	▶	カーソルを右移動します

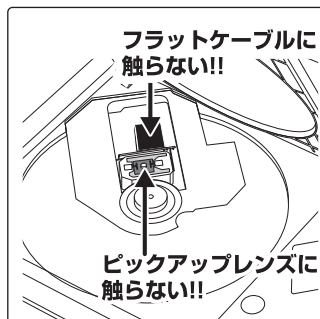
No.	ボタン	機能
⑰	決定	項目の決定をします
⑱	表示切替	情報の表示を切り替えます
⑲	戻る	前の項目に戻ります
⑳	スロー再生	スロー再生をします
㉑	◀◀	早戻し再生をします
㉒	▶II	ディスクやファイルを再生/一時停止します
㉓	▶▶	早送り再生をします
㉔	コマ送り	コマ送り再生をします
㉕	I◀◀	前のチャプターへ移動します
㉖	■	再生中のディスクやファイルを停止します
㉗	▶▶I	次のチャプターへ移動します
㉘	画面オン/オフ	画面の消灯(点灯)をします
㉙	リピート	リピート再生をします
㉚	A-B	区間指定のリピート再生をします
㉛	アングル	アングルを切り替えます

●上記は一例です。ディスクや実行中のメニューによって動作は異なります。

ディスクトレイカバーを開く

ディスクトレイカバーを開けるとレンズ保護シートが取り付けられていますので、取り外してからご使用ください。

ディスクをセットする際は 開く OPEN を操作し、ディスクトレイカバーが自動的に開いた状態で行なってください。

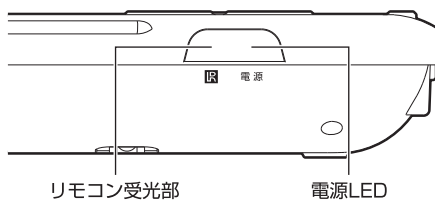
自動的に開いた角度以上にディスクトレイカバーを開くと、故障したり、ディスクトレイカバーが破損する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

※ディスクトレイカバーは、50度以上開きません。

ピックアップレンズにより、ディスクに記録されたデータを読み取り、フラットケーブルにより、読み取ったデータをやり取りしていますので、ピックアップレンズやフラットケーブルには触れないでください。

ピックアップレンズやフラットケーブルに触れると、故障したり、破損する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

※ピックアップレンズにチリやホコリが付着した場合は、市販のレンズクリーナーを使用してください。

専用 AC アダプタ接続

右側面の ◎ DC IN 9V に付属のACアダプタやシガーソケットアダプタを接続します。
LEDの状態は以下の表の通りになります。

前面部

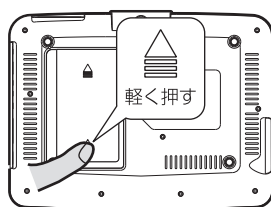
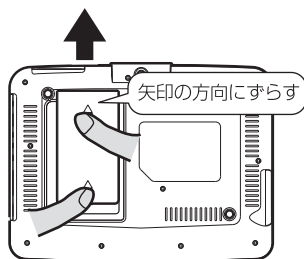
電源LED	
電源オン	緑点灯
電源オフ	消灯

●ACアダプタを接続する場合は、乾電池を取り付けないでください。

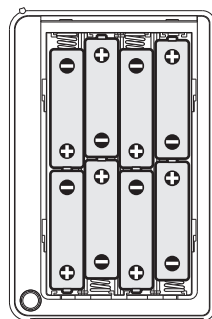
単３形乾電池を取り付ける

本体に単３形乾電池か単３形充電池を８本取り付けることで、
ACアダプタを接続することなく、持ち運んでDVDディスクを視聴することができます。

乾電池の取り付け方法

1. 本体裏面の電池カバーを取り外す

①左手で下の三角のマークを軽く押す

②そのまま右手で上の三角のマークを矢印の方向にずらす

2. 本体の刻印に従って、＋(プラス)と－(マイナス)の向きに注意しながら、右図の様に単３形乾電池か単３形充電池を取り付ける

■単3形アルカリ乾電池8本
動作時間：約4時間
■単3形充電式ニッケル水素電池8本
動作時間：約5時間
※使用する電池により再生時間が前後する場合があります。

●必ず指定の電池を使用してください。指定外の電池を使用すると、故障したり、破裂や液漏れの原因となり、火災やケガをする危険があります。
●未使用の電池と使用済みの電池や、メーカーが異なる電池など、種類の違う電池を組み合わせて使用しないでください。組み合わせて使用すると、故障したり、破裂や液漏れの原因となり、火災やケガをする危険があります。
●ACアダプタを使用する場合や、長期間使用ない場合は、電池を取り出してください。
電池がわずかに消費され続け、使用推奨期限を過ぎたり、使い切った状態となり、破裂や液漏れの原因となって、火災やケガをする危険があります。

リモコンを準備する

初めてご使用になる場合は、電池挿入口よりプラスチック片を取り除いてください。電池を交換する場合は、市販の CR2025 形ボタン電池をリモコンの刻印に従って交換してください。

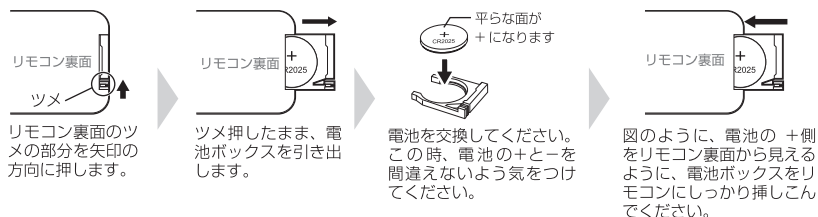
●長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
●付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

リモコン用電池の交換方法

リモコン裏面のツメの部分を矢印の方向に押します。

ツメ押したまま、電池ボックスを引き出します。

電池を交換してください。この時、電池の+と−を間違えないよう気をつけてください。

図のように、電池の ＋側をリモコン裏面から見えるように、電池ボックスをリモコンにしっかり挿しこんでください。

電源操作

右側面の（オフ 電源 オン）をオン側に動かすと、電源がオンになり画面に「GREEN HOUSE」のロゴマークが表示されます。オフ側に動かすと、電源がオフになります。

● （オフ 電源 オン）をオンにしても電源LEDが点灯しない場合、電池残量がありませんので、乾電池を取り外し、専用ACアダプタを接続してください。（P.27）
● 電池残量が残り少なくなると画面右下に電池マークが点灯し、しばらくすると電源が切れますので、使用を続ける場合は乾電池を取り外し、専用 AC アダプタを接続してください。

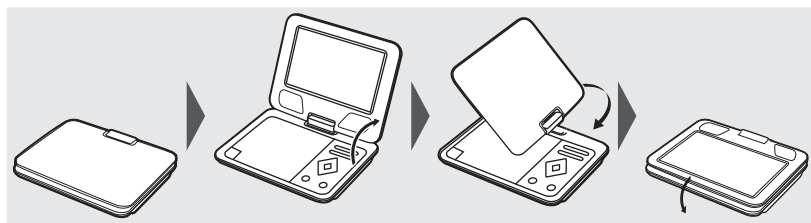
液晶画面を回転させる

液晶画面が左に 90 度、右に 180 度回転でき、環境に合わせてスタイルを変更して視聴できます。

液晶画面を回転する際は、液晶画面を垂直に起こし、右回りは 180 度、左回りは 90 度を限度に行ってください。

液晶画面の回転する限度を超えたり、液晶画面を起こさなかったり、斜めに起こした状態で回転すると、破損したり、発熱、発火する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

●液晶画面を回転させる場合は本体を押さえ、指などを挟まないように注意してください。

右に回転させるとコンパクトに視聴できます。

※：液晶画面は水平に回転させてください。傾けたり、折りたたんだ状態で回転させると本体に傷が付く場合があります。

ディスクを再生する（基本編）

ディスクの基本操作を紹介します。操作方法はディスク再生時のリモコン操作を中心に解説します。

●DVD ディスクの収録状態によって、操作ができない場合があります。
●レコーダーなどで録画したディスクは解説した機能が使用できない場合があります。
●再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。
●ディスクトレイカバーを上から強く押さないでください。

ディスクを再生する

1. ディスクトレイカバーを開けます
   液晶画面を開き、本体の［開く OPEN］を操作してディスクトレイカバーを開けます。
2. ディスクを入れます
   再生面を下にして、ディスクの穴をディスクトレイ中央部の突起に、カチッと音がでるまでしっかりとはめこみます。
3. ディスクトレイカバーを閉めます
   開いたカバーをカチッと音がするまで下に押します。ディスクが自動的に再生されます。

再生を停止する

リモコンの［■］ボタンを押すと、再生が停止し「GREEN HOUSE」のロゴ画面になります。

リモコンの［■］ボタンを 1度押した場合は停止位置が記憶されますが、ボタンを2度押した場合は停止位置が記憶されませんので、ディスクの先頭から再生が開始されます。

一時停止する

再生中にリモコンの ▶II ボタンを 1 度押すと一時停止します。
通常再生に戻るには、もう 1 度 ▶II ボタンを押してください。

ディスクの先頭から再生する

リモコンの ■ ボタンを続けて 2 回押すと、画面右上に「■」が表示されます

▼

リモコンの ▶II ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生されます。

早送り / 早戻しする

再生中にリモコンの ▶▶ / ◀◀ ボタンを押すと、早送り / 早戻し再生になります。

▶▶ ボタンを押すごとに早送りスピードが 2× ～ 32× で変化します。

◀◀ ボタンを押すごとに早戻しスピードが 2× ～ 32× で変化します。

通常再生に戻るには 32× の状態でもう一度、▶▶ / ◀◀ ボタンを押します。
リモコンの ▶II ボタンを押しても戻れます。

前後のチャプターへ移動する

再生中にリモコンの ▶▶I / I◀◀ ボタンを押すと、前後のチャプターを選択できます。

▶▶I ボタンを押すと、次のチャプターの開始地点へ移動します。

I◀◀ ボタンを押すと、再生中のチャプターの開始地点へ移動します。
前のチャプターの開始地点へ移動するには 2 回押してください。

音量調整する

再生中にリモコンの ＋ / － ボタンを押すと「0」～「20」の間で音量調整できます。

消音したい場合は、再生中にリモコンの 消音 ボタンを押します。画面左下に「消音」と表示され消音状態となり、内蔵スピーカーとヘッドホンから音が聞こえなくなります。消音状態を解除するには、もう 1 度 消音 ボタンを押してください。

メニュー画面を表示する

メニュー画面が記録されている DVD ディスクでは、メニュー画面からタイトルやチャプターを選択しての再生、音声や字幕の設定が可能なものもあります。

リモコンの メニュー ボタンを押すと、DVD ディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

▼

リモコンの ▲◀▶▼ ボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

▼

リモコンの 決定 ボタンを押すと、選択した項目が表示されます。

ディスクを再生する（応用編）

ディスクの応用操作を紹介します。

音声を切り替える

複数の音声が記録されている DVD ディスクは、音声の切り替えができます。
※例：DVD ディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。

再生中にリモコンの 音声切替 ボタンを押すごとに音声が切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り替える場合があります。
●1 つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできません。
●DTS 収録された音声は再生できません。

字幕を切り替える

字幕が記録されている DVD ディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。
また、複数の字幕が記録されている DVD ディスクでは、字幕を切り替えられます。

再生中にリモコンの 字幕切替 ボタンを押すごとに表示される字幕が切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り替える場合があります。
●字幕が記録されていないディスクや、1つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

アングルを切り替える

複数アングルが記録されているディスクでは、アングルを切り替えられます。

リモコンの アングル ボタンを押すと画面右上に下のように表示されます。

1 / 9　現在のアングル番号 / 総アングル数

リモコンの 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ボタンで、アングル番号を選択してください。

再生中の画面アングルが切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面でアングルを切り替える場合があります。

●1 つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。

アスペクト比を切り替える

再生中のアスペクト比（映像比率）を [16 : 9] か [4 : 3] に切り替えできます。

リモコンの 設定 ボタンを押し、「映像設定」-「画面モード」で [16 : 9] か [4 : 3] の切り替えができます。

また、リモコンの 画面モード ボタンでも切り替えができます。

●本機能を使用すると設定画面の比率も変更されます。

再生（便利な再生機能編）

ディスクを再生する（便利な再生機能編）

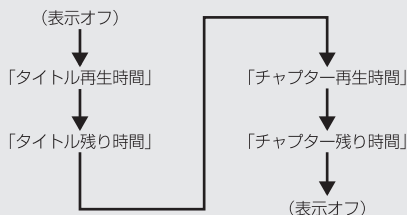
ディスクの便利な再生機能を紹介します。

再生中の情報を表示する

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。

再生中にリモコンの 表示切替 ボタンを押すと下のように画面に表示されます。

タイトル: 01/03 チャプター: 17/36 1:08:26 ※タイトル再生時間の一例です。

リモコンの 表示切替 ボタンを押すごとに情報表示が切り替えできます。

●ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

サーチ再生する

タイトルやチャプターを指定して、頭出し再生ができます。
項目はリモコンの ◀ / ▶ ボタンで移動し、数字の入力は 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ボタンで行います。

再生中にリモコンの 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ボタンを押すと、下のように切り替えできます。

T: 01/03 C: □/36 ･･･ タイトル/チャプター番号を指定できます。

●ディスクによっては、サーチ再生できない場合があります。

ズーム再生する

DVD ディスク再生中に、リモコンの ズーム ボタンを押すと、ズーム再生になります。
ボタンを押す毎に [2×] [3×] [4×] [1/2] [1/3] [1/4] が選択でき、
もう1度 ズーム ボタンを押すと通常再生に戻ります。

●ディスクによっては、ズーム再生できない場合があります。

リピート再生する

お好みの「チャプター」「タイトル」をリピートして再生できます。

リモコンの リピート ボタンを押すごとに下のリピートモードが選択できます。

チャプター	・・・	現在のチャプターを繰り返し再生し、チャプターの最後まで再生すると、チャプターの先頭から再生が始まります。
タイトル	・・・	現在のタイトルを繰り返し再生し、タイトルの最後まで再生すると、タイトルの先頭から再生が始まります。
オール	・・・	ディスク全体を繰り返し再生します。
リピートオフ	・・・	リピート再生を無効にします。（通常再生に戻ります。）

●ディスクによっては、リピート再生できない場合があります。
●音楽 CD 再生時は [トラック] [オール] [リピートオフ] が使用できます。

指定区間リピート再生する

お好みの 2 点間を指定して繰り返し再生できます。

再生中に開始位置に指定したい箇所でリモコンの A-B ボタンを押すと、画面上に「A」と表示され、開始位置が記録されます。

画面左上に「A」と表示されている状態で、終了位置に指定したい箇所で、もう一度 A-B ボタンを押すと、画面上に「AB」と表示され、指定した 2 点間がリピート再生されます。
通常再生に戻るには「AB」と表示されている状態で A-B ボタンを押します。

●ディスクによっては、指定区間リピート再生できない場合があります。

スロー再生する

再生中の速度を 1/2 ～ 1/16 倍でスロー再生 / スロー巻戻し再生できます。

ディスク再生中に、リモコンの スロー再生 ボタンを押すと、スロー再生 / スロー巻戻し再生になります。
ボタンを押すごとに [1/2] [1/4] [1/8] [1/16] [1/2] [1/4] [1/8] [1/16] が選択でき、もう一度 スロー再生 ボタンを押すと通常再生に戻ります。

●スロー再生中は、音声は再生できません。
●ディスクによっては、スロー再生できない場合があります。

コマ送り再生する

再生中にコマ送り再生できます。

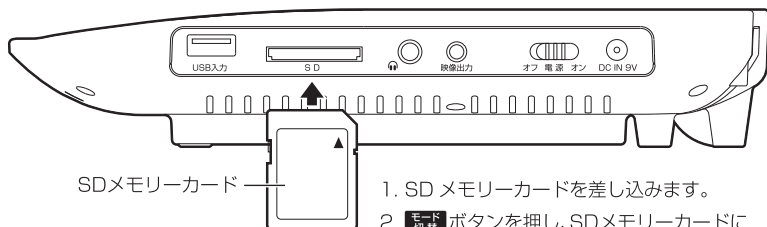
ディスク再生中に、リモコンの コマ送り ボタンを押すと、押すごとにコマ送りで再生されます。
通常再生に戻るには ▶II ボタンを押してください。

●コマ送り再生中は、音声は再生できません。
●ディスクによっては、コマ送り再生できない場合があります。

外部メモリーを使用する

SDスロットを使用する

SD スロットを使用して SD メモリーカードから音楽・画像・動画を再生する方法を紹介します。

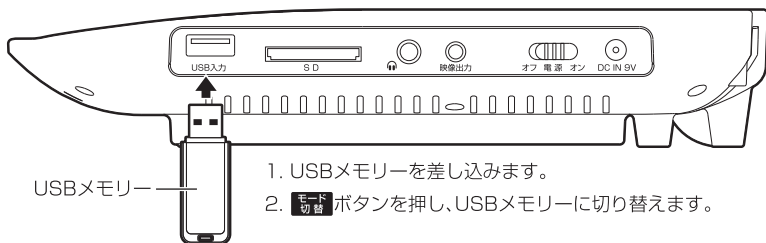
SDメモリーカードから再生する

1. SD メモリーカードを差し込みます。
2. モード切替 ボタンを押し、SDメモリーカードに切り替えます。

●SD メモリーカードは、読み込みをしてない時に取り外してください。
●音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイル再生中の場合、■ ボタンを押して、再生を停止させてから SD メモリーカードを取り外してください。

USBポートを使用する

USBポートを使用して USBメモリーから音楽・画像・動画を再生する方法を紹介します。

USBメモリーから再生する

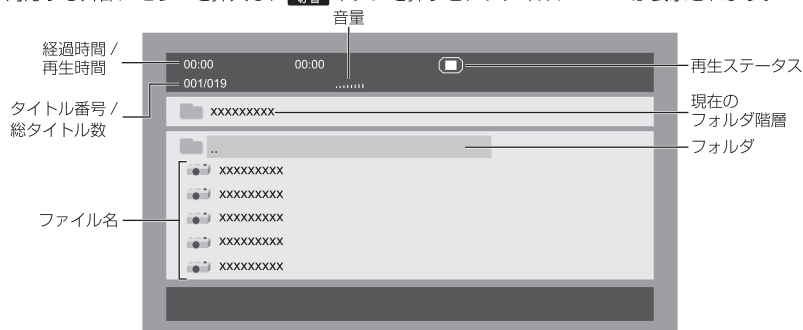
1. USBメモリーを差し込みます。
2. [モード切替]ボタンを押し､USBメモリーに切り替えます。

●USBメモリーは、読み込みをしてない時に取り外してください。
●音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイル再生中の場合、[■]ボタンを押して、再生を停止させてから USBメモリーを取り外してください。
●搭載されている USB ポートは、USBメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本製品や USBメモリーの故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。

ファイルメニュー

ファイルメニューの操作

ファイルメニューの操作方法を紹介します。

ファイルメニューの表示

対応するファイル形式の動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルが再生できます。
対応する外部メモリーを挿入し、モード切替 ボタンを押すと、ファイルメニューが表示されます。

- ●対応するファイル形式であっても、すべてのファイル、すべての対応外部メモリーの動作保証をするものではありません。
- ●一部の日本語ファイル名は正常に表示されない場合があります。

ファイルメニューの基本操作

リモコンの ◀▲▼▶ ボタンで再生したいファイルを選択し、決定 ボタンを押してください。
ファイルが再生または表示されます。別のフォルダに移動したい場合は、フォルダを選択し、決定 ボタンで移動してください。

- ●ファイルや動作中のモードによって機能が使用できない場合があります。

ファイル番号を指定して再生する

ファイルメニュー画面でリモコンの 1～9、0 ボタンを押すと、ファイル番号を指定して再生できます。
ファイルメニュー左上部の箇所に「--2/009」（1～9、0 ボタンの 2 を押した場合）のように選択した番号が反転表示されるので、リモコンの 決定 ボタンを押してください。

動画ファイルを再生する

動画ファイルを選択してリモコンの ▶II ボタンか 決定 ボタンを押すとフルスクリーン再生されます。

動画ファイルを再生中に以下の機能が使用できます。

決定 ・・・ 再生します。

■ ・・・ 再生を停止します。

▶II ・・・ 再生を一時停止します。
通常再生に戻るには、もう一度ボタンを押してください。

▶▶I ・・・ 次の動画ファイルに移動します。

I◀◀ ・・・ 前の動画ファイルに移動します。
ボタンを1度押した場合は再生中のファイルの開始地点へ移動します。前のファイルの開始地点へ移動するにはボタンを2回押してください。

▶▶ ・・・ ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早送り再生します。

◀◀ ・・・ ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早戻し再生します。

リピート ・・・ ボタンを押すごとに [シングルリピート] [オールリピート] [リピートオフ]が選択できます。

ズーム ・・・ ボタンを押すごとに [x2] [x3] [x4] [x1/2] [x1/3] [x1/4] と再生画面が変更できます。

A-B ・・・ 指定区間リピート（AB リピート）します。

表示切替 ・・・ 再生中の情報を [再生時間] [残り時間] [表示オフ] と表示します。

消音 ・・・ 消音します。

メニュー ・・・ ファイルメニューに移動します。

音楽ファイルを再生する

音楽ファイルを選択してリモコンの ▶II ボタンか 決定 ボタンを押すと再生が開始されます。
音楽ファイルを再生中に以下の機能が使用できます。

決定 ・・・ 再生します。

■ ・・・ 再生を停止します。

▶II ・・・ 再生を一時停止します。
通常再生に戻るには、もう一度ボタンを押してください。

▶▶I ・・・ 次の音楽ファイルに移動します。

I◀◀ ・・・ 前の音楽ファイルに移動します。

▶▶ ・・・ ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早送り再生します。

◀◀ ・・・ ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早戻し再生します。

リピート ・・・ ボタンを押すごとに [シングルリピート] [オールリピート] [リピートオフ] が選択できます。

A-B ・・・ 指定区間リピート（AB リピート）します。

消音 ・・・ 消音します。

メニュー ・・・ ファイルメニューに移動します。

画像ファイルを表示する

画像ファイルを選択してリモコンの ▶II ボタンか 決定 ボタンを押すとフルスクリーンでスライドショー表示されます。
画像ファイル再生中に以下の機能が使用できます。

- 決定 ・・・ 再生します。
- ■ ・・・ 再生を停止します。
- ▶II ・・・ 再生を一時停止します。
  通常再生に戻るには、もう一度ボタンを押してください。
- ▶▶I ・・・ 次の画像ファイルに移動します。
- I◀◀ ・・・ 前の画像ファイルに移動します。
- ◀ ・・・ 反時計回りに 90 度単位で回転表示します。
- ▶ ・・・ 時計回りに 90 度単位で回転表示します。
- ▲ ・・・ 上下反転表示します。
- ▼ ・・・ 左右反転表示します。
- リピート ・・・ ボタンを押すごとに [シングルリピート] [オールリピート] [リピートオフ] が選択できます。
- ズーム ・・・ ボタンを押すごとに [100%] [125%] [150%] [200%] [75%] [50%] と再生画面が変更できます。
- 表示切替 ・・・ スライドショー効果を切り替えます。
- メニュー ・・・ ファイルメニューに移動します。

設定画面の操作

設定を変更するには設定画面で変更します。

リモコンボタンの 設定 ボタンを押すと、以下のように表示されます。

リモコンの ◀ / ▶ ボタンで項目を選択し、決定ボタンで確定します。

一般設定

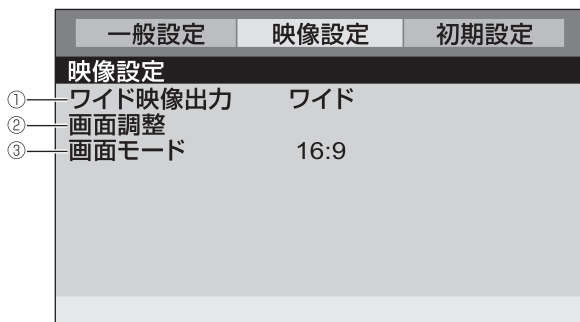
一般設定	映像設定	初期設定

一般設定	
① アングルマーク	オフ
② 画面表示言語	日本語
③ ラストメモリー	オン

①: アングルマーク表示の [オン] [オフ] が選択できます。

②: 画面の表示言語を [日本語] [英語] から選択できます。

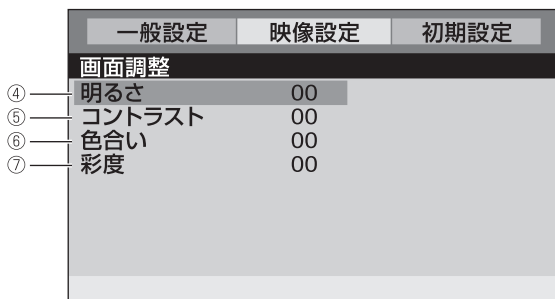
③: ラストメモリーの [オン] [オフ] が選択できます。

映像設定

①：ワイド映像の表示方法が変更できます。
　　再生するディスクやファイルに応じて選択してください。
　　[パンスキャン][レターボックス][ワイド] から選択できます

②：項目を選択すると映像設定メニューが表示されます。

③：画面のアスペクト比を [16：9] [4：3] から選択できます。

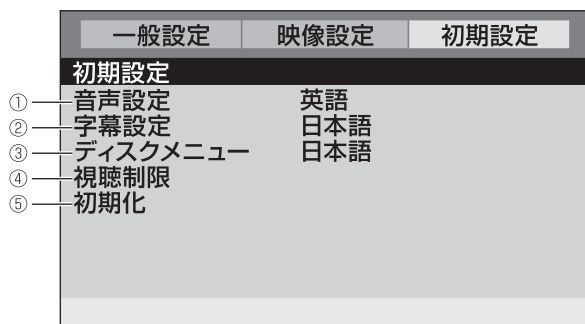
●②･③の設定は本体画面にのみ反映されます。
映像出力を使用される場合はご使用のテレビの設定を変更してください。

◆画面調整メニュー

④：画面の明るさが変更できます。
　　「－16」～「＋16」で調整できます。

⑤：画面のコントラストが変更できます。
　　「－16」～「＋16」で調整できます。

⑥：画面の色合いが変更できます。
　　「－9」～「＋9」で調整できます。

⑦：画面の彩度が変更できます。
　　「－9」～「＋9」で調整できます。

初期設定

①: DVD ビデオの音声言語を変更できます。

②: DVD ビデオの字幕言語を変更できます。

③: DVD ビデオのディスクメニュー言語を変更できます。

※①②③は設定を行なっても再生する DVD ビデオによって動作しない場合があります。

④: ペアレンタルコントロールのレベルが変更できます。

変更には 4 桁のパスワードを入力する必要があります。

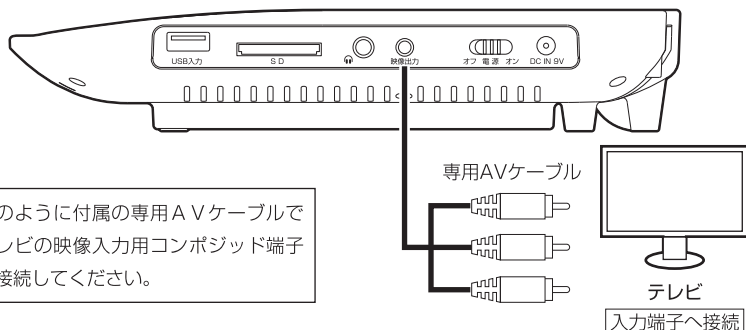
パスワードは [1719] です。

⑤: 設定を出荷時の状態に戻します。

外部端子接続

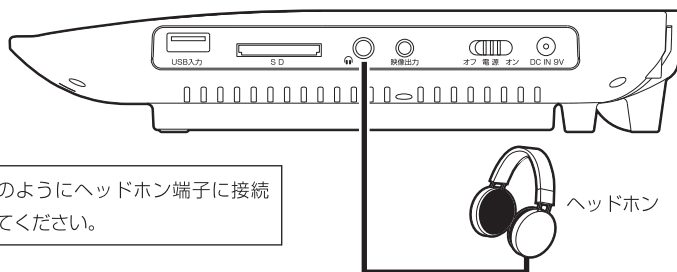
テレビに出力する

映像出力端子を使用してテレビに出力する方法を紹介します。

図のように付属の専用ＡＶケーブルでテレビの映像入力用コンポジッド端子に接続してください。

- ●テレビ・映像機器側の音量を最小にしてから接続してください。
- ●接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
- ●映像出力時も本体スピーカーから音声が出力されます。
  本体スピーカーから音声を消す場合は ◎ にヘッドホンを接続してください。

ヘッドホンを使用する

ヘッドホン端子を使用してヘッドホンで聞く方法を紹介します。

図のようにヘッドホン端子に接続してください。

- ●音量を最小にしてから接続してください。

故障かな？と思ったら

製品本体

電源が入らない	●専用ACアダプタをコンセントへしっかりと差し込んでください。(P.27) ●電池切れになってないか確認してください。(P.28)
リモコンがきかない	●電池の+、−の向きを確認してください。(P.29) ●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P.29) ●リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.23) ●リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。
すべての設定を初期設定に戻したい	●設定画面の「初期設定」から「初期化」を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.47)

●静電気や落雷、他の機器との干渉により、本製品が正常に機能しない場合があります。その際は、本製品の電源をオフにしてからオンにする、または電源をオフにしてからACアダプタのプラグを抜き、再び挿し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。

DVDビデオディスク再生

再生できない	●本製品で再生できるディスクか確認してください。(P.15) ●DVDディスクのリージョンコードを確認してください。本製品のリージョンコードは「2」です。(P.18) ●視聴年齢制限が設定されていないか確認してください。(P.47) ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13) ●ディスクはラベル面を上に正しくセットしてください。 ●ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部やディスクに露が付くことがあります。1 ～ 2 時間放置してください。(P.13)

症状	対処
録画した DVD ディスクが再生できない	●ディスクがファイナライズされていない場合、再生することができません。
映像が白黒になる	●ディスクの映像タイプを確認してください。(P.17)
映像が乱れる	●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13) ●サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。
音声言語が切り替えられない	●複数の音声が収録されていないディスクでは切り替えできません。(P.17) ●音声切替ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.33)
音声が出ない	●リモコンや本体の音量レベルを確認してください。(P.33) ●早送り / 早戻し再生中に音声は出ません。 ●音声切替ボタンで切り替えてください。(P.34)
字幕言語が切り替えられない	●字幕の入ってないディスクは切り替えできません。(P.17) ●複数の字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.34) ●字幕切替 ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.33)
字幕が出ない	●字幕の入ってないディスクは切り替えできません。(P.17) ●字幕が「オフ」になっている場合は、字幕切替ボタンで切り替えてください。(P.34)
アングルを変えて見ることができない	●複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.35) ●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えできます。(P.35)

ファイルモード

症状	対処
動画ファイルや音楽ファイルが再生できない	●対応ファイル形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になります。

仕様

ディスプレイ	10.1型ワイド液晶(LED)
ディスプレイ画素数	1024×600ピクセル(16:9)
対応ディスクフォーマット	DVD-VIDEO / DVD-VR(CPRM対応) / CD-DA / データDVD / データCD
対応ディスクタイプ	DVD-ROM / DVD±R / DVD±R DL / DVD±RW / CD-ROM / CD-R / CD-RW
対応音声コーデック	PCM / Dolby Digital
ラストメモリー機能	最大1件まで記憶 ※設定で機能を「オン」にする必要があります。
対応外部メモリー	SDカード(~2GB) / SDHCカード(~32GB) / USBメモリー(~32GB) ※miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードを使用する場合、別途専用アダプタが必要になります。 ※FATまたはFAT32でフォーマットされた外部メモリーのみ対応
対応ファイル形式	MPEG1 / MPEG2 / MP3 / WMA / JPEG
出力信号方式	NTSC
スピーカー	2chステレオ(1.5W×2)
搭載端子	USBポート×1 SDカードスロット×1 ヘッドホン出力端子(ステレオミニ)×1 映像出力端子×1 電源入力端子×1
電源(ACアダプタ)	入力:AC100V 50/60Hz 出力:DC9V / 1.6A
電源(シガーアダプタ)	入力:DC12V / 2A (※24V車不可) 出力:DC9V / 1.5A
電源(乾電池)	単3形乾電池 8本(別売り)
消費電力	最大10W
再生時間(乾電池)	単3形アルカリ乾電池:約4時間 / 単3形ニッケル水素充電池:約5時間 ※使用する電池により再生時間が前後する場合があります。
動作温度範囲	5℃~40℃
動作湿度範囲	20%~80%(結露なきこと)
外形寸法	W266×D203×H52mm
本体重量	約950g

・対応ディスクフォーマット・対応ディスクタイプ・対応外部メモリーは、すべてのディスク・外部メモリーやすべての容量に対し、再生を保証するものではありません。
・対応ファイル形式は、すべてのファイルの再生を保証するものではありません。

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266 (24 時間受付)
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/

・ 故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」や FAX でお問い合わせください。
・ お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
・ テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は、日本国外では使用できません。
・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。
※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。